



# 町長日誌

## No.23

町長日誌の第23号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**6月17日(金) AM7:30**

今朝、自宅から車で通勤途中、道の両側に広がる牧草地の草がもりもりとしてきたように感じられました。12日(日)に降った雨の効果絶大です。ちなみに、牧草にも色々種類がありまして主なものがイネ科で「オーチャードグラス」と「チモシーグラス」です。今の時期すでに穂が出ているものがオーチャードでこれから収量が増える、つまり私が「草がもりもりしてきた」と表現したのはチモシーのことなのです。出来ればもう一雨あれば5月の低温により生育が遅れていた牧草の収量も回復できるかなと思っています。

**5月31日(火)**

私の日課は、朝7時45分ごろ役場に出勤して8時頃消防支署に行き昨夜の救急出動の有無を当番の署員に尋ねることから始まります。火災については、必ずどこにいても連絡が入りますし、大きな交通事故なども連絡が入るようになってきました。ですから深夜に電話がなると『あっ、火事か大きな事故かな?』と目が覚めてしまいます。最近火災も交通事故も少なくなりましたが今朝4時頃湖畔橋の紋別側にて単独の事故があり重体との報告を受けました。9時に札幌に出かける準備をしているところへ死亡の連絡が入り1200日続いた死亡事故ゼロもこれまでかと思いましたが、後日わかったことですが警察署管轄が湖畔橋を境にしているとのことで、今回の事故は紋別警察署管内ということになり、興部の交通事故ゼロは今も続いています。



6月7日 海浜清掃

**6月7日(火)**

来年開校100周年を迎える豊野小学校の協賛会役員の皆様が町・教育委員会に記念事業への支援要請のため町長室を訪れてくださいました。豊野小は現在児童数7名、来年9名としばらくこの児童数が続くことから地域としてもPTAとしても当面学校を維持していきたいとお考えも伺いました。私からは、『小規模校がだめとは思わないが、興部小との交流も教育委員会と相談しながら取り組み、大勢の中で子供を学ばせることも考えてください』と申し上げました。100年の歴史は、とても重いことです。町も協賛会さんと協力しまして記念事業に取り組んでまいりますので、よろしくをお願いします。

**6月10日(金)**

夕方、国保病院運営審議会(会長:多田直男さん)が開かれ病院の経営状況などが事務局から報告されました。年明けから除々に入院・外来共に患者さんが増え入院では多い日で50名、外来が120名と、数字的にはかなり患者さんが戻ってきています。これは、しばらくぶりに内科医師が固定した事が患者さんの安心感につながっていることが大きいようです。

さらに国保病院としては、雄武町国保病院と協力しまして7月より毎週木曜日の午後、雄武国保病院勤務の整形外科医(大和田医師)に診察をしていただくことになりました。来年3月までの試行としての取り組みですが、足腰などに痛みのある方はどうかご利用ください。

農家の皆さんは1番牧草収穫という年間で最大のイベントとも言える農作業の季節を迎えます。漁家の皆さんは再開された毛ガニ漁はじめ、高値が続くホタテ漁など忙しい時期を迎えますが、どうか機械等の作業中の事故に十分気を付けられ、豊作豊漁になることを願っています。では、また。



町長のメールアドレスは、[mayor@town.okoppe.hokkaido.jp](mailto:mayor@town.okoppe.hokkaido.jp)です。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 2・2131です。